

ことしの市のお台所 ……市政のはなし

(現 計 予 算)

はじめに

越谷市を明るく豊かにし、本当に市民のための市政を造り上げていくためには、市が市民のためにしている仕事の内容を、1人1人の皆さんに知っていただき、同時に皆さんの意志を市政に反映して仕事を進めていく必要があります。その意味で、今日は市民皆さんと膝をまじえて話し合う会を開きましたので、皆さんが常日頃市政に対し苦情、意見、要望、疑問などを明らかにし合ってお話し合いたいと思います。

市政

資産の増勢は急ピッチ……各階層別に見た市民のふところ具合は、34年度推定で33年度より111%増の総所得約24億円に対し48%が給与所得者、30%が農業所得、14%が営業所得となる見込みであるので、ことしの予算をくむには市民税の増収を見込みました。

固定資産の面では、年々市民の資産は順調に増加してゆく推定です。この増加していく首位を占めるものは宅地の造成を含めて専用住宅が大体1日1軒の割で増え、この分の固定資産税の増収も見込み、その外工場誘致による償却資産の増加も相当見込まれ、この分によって相当額増収できる予定です。このように市財政は市民のふところ具合が上昇するにつれ年々伸長しつつあります。ことしの一般会計、特別会計あわせて3億3千万円の大きな財政を市民皆さんからおあずかりし、健全財政を堅持して運営いたします。

一般会計

入るお金			出るお金		
	千円	%		千円	%
1. 市 税	106,802	44.0	1. 議 会 費	4,348	1.8
2. 地方交付税	47,773	19.7	2. 市 役 所 費	43,530	17.9
3. 公営企業及 財産収入	45	0	3. 消 防 費	10,948	4.5
4. 使用料及手数料	2,970	1.2	4. 土 木 費	17,028	7.0
5. 国庫支出金	25,906	10.7	5. 教 育 費	76,427	31.6
6. 県 支 出 金	3,904	1.6	6. 社 会 施 設 及 労働施設費	48,696	20.1
7. 寄 付 金	3,550	1.5	7. 保 健 衛 生 費	7,847	3.2
8. 繰 越 金	10,714	4.4	8. 産 業 経 済 費	13,534	5.6
9. 雑 収 入	2,933	1.2	9. 財 産 費	1,260	0.5
10. 市 債	38,000	15.7	10. 統 計 調 査 費	888	0.3
			11. 選 挙 費	1,157	0.5
			12. 公 債 費	5,306	2.2
			13. 諸 支 出 金	10,625	4.4
			14. 予 備 費	1,000	0.4
歳 出 入 と も					
合 計	242,594	千円			

特別会計

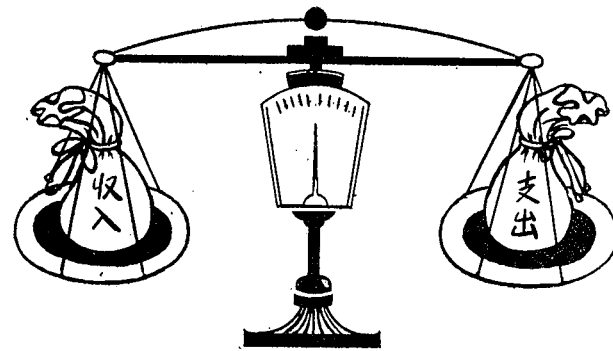
	円
○ 公 益 質 屋 費	3,566,100
○ 都 市 計 画 事 業 費	4,241,400
○ 国 保 事 業 勘 定	33,720,000
○ 国 保 施 設 勘 定	7,702,567
○ 上 水 道 費	35,257,460
○ 大袋地区簡易水道事業費	3,470,690
○ 広域簡易水道事業費	1,500,000
合 計	89,458,217
一般会計と特別会計をあわせて	
	3億3千2百5万2千円

もしこの数字があなたの月給額だったら……

「こう数字を並べられても、わたしは数字が嫌いなんだよ」、この予算表をご覧になっても、或いはこういわれる方がおられるかも知れません。でももしこの数字が、あなたの月給額だったらどうでしょう。「おっと待ったこれは大事だ」と必ず1度たんねんに見直されるでしょう。さあ！ 無関心ではられません。あなたの手にする給料やお店の稼ぎ高によって生活設計をたてると同様、あなたの身近なところで道路をよくしたり、橋をかけたり、学校を建てたりする1年の仕事の予算が組まれていくのです。

ことしの主な施策

- (1)都市計画事業を進める……都市計画による区画整理を進めて新しい市街地を造るため、ことしはじめて特別会計として都市計画事業費を設けました。
- (2)工場誘致に力こぶ……ここ2、3年の間に20数社の小規模工場が誘致され、これによって市民の経済及び市財政が逐次うるほされ、かつ農村2、3男対策にも寄与しているので大いに力こぶをいれます。
- (3)農業をおこす……農家の自主的な経営改善と生産向上にはできる限り協力と援助をして田園都市としての充実をはかります。
- (4)商業をおこす……商業の振興にも商工会等を通じての業者の研究と努力に期待し会の助成に力こぶをいれます。
- (5)武蔵野線の誘致、電報電話局の建設……武蔵野線の当市通過に県の期成同盟会と1体となって運動を続けます。電報電話局建設も早期着工実現の運動を続けます。
- (6)教育施設の整備……学校々舎の増改築、統合中学の建設は、新市建設5カ年計画に基き着々と整備が急がれており、ことしは東中特別教室の完成、南中学校の鉄筋2階建6教室、それに中央中4教室増築の完成、北中学校を2カ年継続事業として着工します。
- (7)水道を普及する……市勢進展と生活改善のため重要な事業として、水道の敷設拡充と土木事業の振興をはかります。



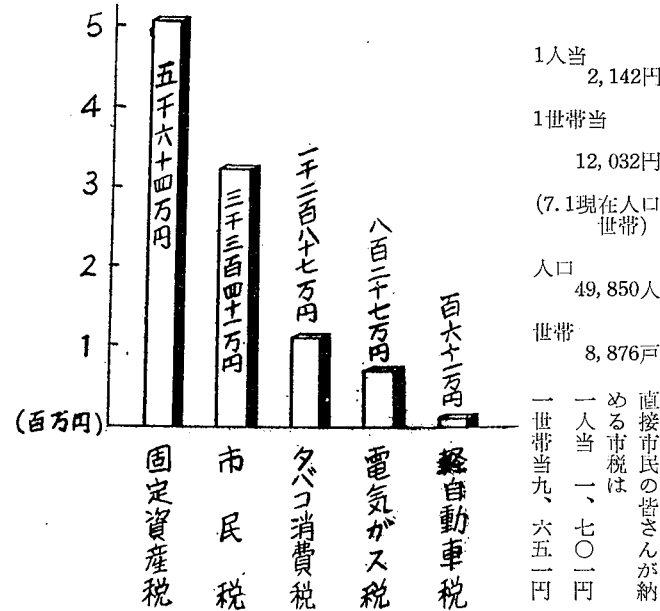
一般会計予算の説明

(現計予算)

市に入るお金 歳入

市税

106.80万円 (44.0%)



1人当り 2,142円
1世帯当り 12,032円
(7.1現在人口世帯)
人口 49,850人
世帯 8,876戸
直接市民の皆さんが納める市税は
一人当り一、七〇一円
一世帯当り九、六五一円

地方交付税

47.77万円 (19.7%)

地方交付税は県や市に一定限度の仕事を保たせて行なわせるために、国が基準を定めて交付する金です。

国や県からくるお金

29.81万円 (12.3%)

国庫支出金

25.91万円 (10.7%)

県支出金

3.90万円 (1.6%)

国や県の仕事で便宜上、市が取扱っている事務に対し、その費用の一部が委託金、負担金として市へ交付されます。また市の行う事業でも特に国や県が必要と認めた仕事には補助金がきます。

その他

58.21万円 (24.0%)

以上のほかに下記のような収入があります。

公営企業及財産収入	4万円 (0%)
使用料、手数料	2.97万円 (1.2%)
寄付金	3.55万円 (1.5%)

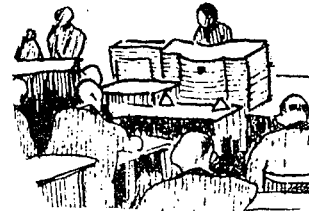
市債 38.00万円 (15.7%)
前年度繰越金 10.71万円 (4.4%)
雑収入 2.93万円 (1.2%)

仕事のために市から出るお金 歳出

1頁でのべた重点施策を中心として、ことしの施策は進められるのですが、その仕事のために市から出るお金の説明をしてみましょう。

市議会費

4.35万円 (1.8%)

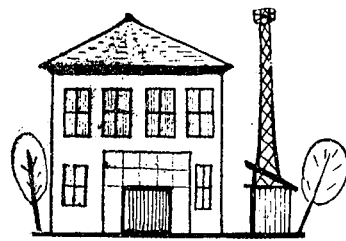


市議会を運営するために必要な経費が仕組みられています。

市役所費

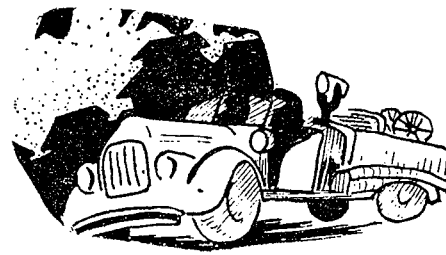
43.53万円 (17.9%)

人口4万9千人をこえる大世帯の市行政をお預りし、いろいろ市の事業をやってゆくために数多くの職員が働いています。この事務用品や、人件費、印刷費、郵便料金など、また補助金や負担金それに市民と市政を結ぶための広報活動費がくまっています。



消防費

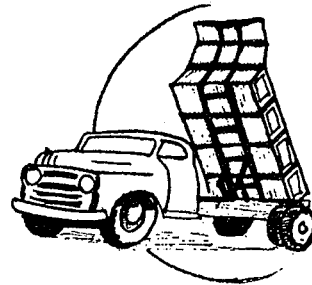
10.95万円 (4.5%)



貯水槽や火の見やぐらの設置や可搬式ポンプ購入、さらに消防署の充実等を行い逐次消防力の増強をはかるいろいろの費用がくまっています。

土木費

17.03万円 (7.0%)



道路整備のため費用、橋架かけかえ工事費、砂利購入費等の費用がもられています。

教育費

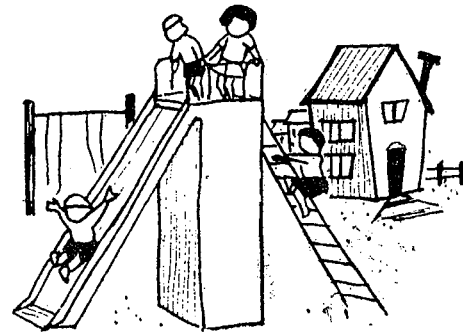
76.43万円 (31.6%)

学校建設費に重点がおかれ、その主な事業として北中統合校舎の建設、東中特別教室増築、南中の増築、中央中の増築等々の費用がもられ急ピッチで進められています。その他、管内小、中学校、社会教育、図書館、公民館などの経常費も相当額ももられています。



社会及労働施設費

48.70万円 (20.1%)



社会保障の仕事として、生活に困っている人、勤労家庭の幼児をあずかる保育所、身障者、敬老年金、国民年金などの費用がおりまわっています。

保健衛生費

7.85万円 (3.2%)

私たちの健康をおびやかす伝染病の予防や、ゴミ、汚物を処理して明るい生活環境を作りあげてゆくための費用です。ことしは自動4輪車を購入してゴミ処理の迅速をはかります。

産業経済費

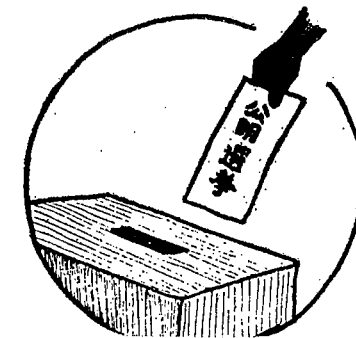
13.53万円 (5.6%)

市の農業や商工業をさかんにするための費用です。ことしは農業生産振興のため昨年購入した深耕トラクターの利用促進、特にことし新設した地力培養のため堆肥舎建設を助成することになりました。商工振興のために商工会への補助もいたしました。

その他

2.023万円 (8.3%)

財産費	1.26万円 (0.5%)
統計調査費	89万円 (0.3%)
選挙費	1.16万円 (0.5%)
公債費	5.30万円 (2.2%)
諸支出金	10.62万円 (4.4%)
予備費	1.00万円 (0.4%)



ご存じですか・納税期日

○固定資産税	4月 7月 9月 12月 (4期)
○市県民税	6月 8月 10月 1月 (4期)
○軽自動車税	4月 (全期)
○国民健康保険税	4月から翌年1月までの毎月(10期)